

日ごろより本校教育活動にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

2月6日の第2回学校評議員会（兼学校関係者評価委員会）で今年度の学校経営について学校評議員の方々から様々なご意見・ご質問を頂きましたので、ご報告いたします。

また、昨年10月に保護者を対象とした「今年度の学校経営に関するアンケート」の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

昨年度同様に、教員を対象にした自己評価アンケートの中から、保護者の皆様を対象にしたアンケートに関連ある項目や関心が高いと思われる項目についても記載しましたので、併せてご覧ください。

1、第2回学校評議員会（兼学校関係者評価委員）より

(1) 今年度の学校経営について ～自己評価及びアンケート結果と今後の方向性～

◆学校経営課題への具体と展望

(以下の項目に沿って実績と課題、令和7年度に向けての報告が行われた。)

- ・教育課程の見直しに伴う授業時数の削減について、R6は40時間減。R7はあと7～10時間減になるが、小学部はまだ+100時間程度で課題がある。
- ・教育課程の変更について、保護者へ紙面にて複数回説明を行った。
- ・学校における働き方改革については、45時間超教員割合について、R4は100%だったが、R5（9月）13%、R6（9月）2.6%と激減している。
- ・教員の同窓会業務に関しては、少しずつ同窓生の保護者の方へ業務の移行を進める。
- ・教員が豊かに生きることで子どもへの支援も豊かになる。授業研究会の改善や授業内容の充実、教育課程の改善に向けて取り組みを進めている。
- ・鶴岡養護学校の福祉避難所としての指定について、2月5日に鶴岡市による住民説明会が行われた。鶴岡市が避難した住民を把握する際、アプリを用いて把握する方向で進めていくとのことである。締結は令和7年4月中旬から下旬の予定。

(2) おひさま分教室経営について ～経営の方針にそった振り返り～

- ・児童生徒について全員で支援の手立てを検討し、自己肯定感の育成と自他の存在や良さを認め合える教育活動の推進に努めた。
- ・授業研究やICT機器の活用などによる児童生徒の多様な実態を踏まえた教育内容の充実を行った。
- ・業務精選を図り、業務内容の適正化と研修会などによる教職員の専門性の向上を図った。

(3) 質疑応答

意見：福祉避難所については、大きな一歩前進である。学校が福祉避難所になるということは、これまで山形県ではなかったこと。よりよい方向で進んでいくようお願いしたい。そのためにも職員一人一人の意識が大切。災害時の避難所立ち上げなど行政と連携しながら進めて欲しい。

返答：職員の意識という面で、職員向けアンケートの中にも「慣れている学校に避難できたら、子どもも保護者も安心だろう」という声がある。引き続き準備をしていく。

意見：地域で慣れた学校（場所）への避難というのは、精神的にも安定するだろう。分教室の取り組みについて、自己肯定感の育成がどうするとできるのか、対応する力について子どもと話し合い、考えていくところがすばらしい。自分を知ることについて、苦手はあるがどうするとできるか考えることが大切である。

返答：避難時に本校の児童生徒全員を受け入れるキャパシティはないが、児童生徒には他の兄弟がいるなど居住地域への避難を望む方もおり、本校が、その選択肢の一つとなることは大きいことだと考える。

質問：分教室の研修でこころの医療センターの東海林医師による講義があったと話題にあった。相談員としてネットやゲーム、タブレット端末の取り扱いなどの相談を受けることが多くある。ICT機器についての良し悪しについて保護者も聞く機会があればよい。タブレット端末での学習で肢体不自由の子が意思を伝える方法としてタブレット端末を使ったものはあるか。

回答：タブレット端末のアプリを活用して、自己表現をすることもある。また、ICT機器の適切な使い方について、人のかかわりを知るとタブレット端末に頼らずに教員などと一緒にいる時間を楽しめるようになる。

質問：一人で留守番などの機会に、どうしてもゲームや動画を観る時間が多くなる。時間の制限など何かあるか。

回答：学校で、どのようにタブレット端末を活用しているかを伝えている。時間やルールについては各家庭で決めている。調理や他の体験など動画で観たものを実際にやってみるなどもよいのでは。

質問：校舎の雨漏りなど老朽化について。

回答：県にも報告、要求しているが、物価の上昇など様々な影響により対応がすぐにはいかない状況にある。

(4) その他

意見：居住地交流活動に民生委員が入っている。何かあったときに民生委員さんが動いてくれると良い。つながりを持つことが大切。情報として知ってもらえると良い。

返答：2月5日に行われた鶴岡市主催の福祉避難所についての住民説明会についても、チラシを見て関心を持っていただけた。地域の中で関心をもっていただくことが大切と考えている。

2 今年度の保護者アンケートについて (回収率)

学部など	実家庭	今年度回収率	R 5年度回収率 (※Gフォーム使用開始)	R 4年度回収率 (紙面)
小学部	51	82.3%	75.7%	100%
中学部	27	96.2%	90.3%	100%
高等部	44	79.5%	67.6%	100%
寄宿舎	9	77.7%	55.5%	100%

※ご兄弟、姉妹のいらっしゃるご家庭は上の学年で回答いただいております。(人数：令和6年10月現在)

3 保護者の皆様の学校運営についてのアンケートの結果 (数字は%)

*上段は令和6年度、下段は令和5年度

項目	達成状況	達成状況				無回答
		そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そうは 思わない	
①小・中・高、各学部及び寄宿舎のつながりを重視し、卒業後を見据えた自立に向けた取り組みを、家庭とともに早期から取り組んでいると思うか。		29	47	10	0	14
		35	36	7	1	21
②子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、学校が家庭、福祉や医療などの関係者と連携しながら可能性を伸ばすことができるように努力していると思うか。		41	38	6	1	14
		39	36	3	0	22
③安全で楽しい学校生活（医療的ケアを含む）の実現に努力していると思うか。（感染症対策、登下校時等）		49	34	2	1	14
		48	27	2	1	22
④将来地域社会の一員としての生活を送るために、様々な交流活動の推進に努めていると思うか。 (居住地交流活動、大泉小との交流等)		33	46	5	2	14
		25	47	6	0	22
⑤喜んで登校し子どもなりの成長がみられ、鶴岡養護学校に入学させてよかったと思うか。		68	17	2	0	13
		60	18	0	0	22

4 教員による自己評価の結果 (抜粋 数字は%)

*上段は令和6年度、下段は令和5年度

項目	達成状況	達成状況				無回答
		そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そうは 思わない	
①多面的な見取りと日々の評価による授業改善を図り、児童生徒の学びの保障とキャリア発達を図ることができたか。		41	59	0	0	0
		17	80	3	0	0
②児童生徒の障がいや特性を把握し、適切な支援や指導の啓発を図り、児童・生徒の視点に立って事故のない環境の確保に努めたか。		56	44	0	0	0
		36	62	2	0	0
③地域社会の一員として主体的な生活を送ることができるよう、双方の実態やニーズを踏まえた交流及び共同学習の推進を図ることができたか。		44	56	0	0	0
		18	78	4	0	0
④12年間継続して教育に当たることのできる本校のメリットを最大限生かすよう、キャリア教育の視点から学部間の継続性と一貫性を図り、より適切な教育課程を検討することができたか。		36	64	0	0	0
		13	75	12	0	0

5 寄宿舎保護者の皆様の寄宿舎運営についてのアンケートの結果 (抜粋 数字は%)

項目	達成状況				無回答
	そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そうは 思わない	
①健康・安全面について、保護者や学校と連携しながら適切な対応を取っていると思うか。(避難訓練、服薬管理、定期的な体調管理等)	56	22	0	0	22
	45	11	0	0	44
②楽しく安心して過ごせるように、余暇の過ごし方や行事の充実に努めていると思うか。	56	22	0	0	22
	45	11	0	0	44
③一人一人の生活ニーズを把握し、保護者の思いや、願いに応えるようにしていると思うか。	34	44	0	0	22
	33	22	0	0	45
④基本的な生活習慣の確立のために努力していると思うか。	44	34	0	0	22
	33	22	0	0	45

6 寄宿舎指導員による寄宿舎運営に関する自己評価の結果 (抜粋 数字は%)

項目	達成状況				無回答
	そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そうは 思わない	
①舎生の様子を積極的に発信し、担任や保護者との連携をより強いものにしたか。	67	33	0	0	0
	42	58	0	0	0
②避難訓練をより現実的に実施することで、事故防止と万が一に備えた訓練をねらいに沿って行うことができたか。	42	58	0	0	0
	42	58	0	0	0
③食事や運動に配慮し、丈夫な身体作りに取り組むことができたか。	25	75	0	0	0
	42	58	0	0	0
④「寄宿舎個別の指導計画」に沿い、一人一人に適切な基本的な生活習慣の確立を図ることができたか。	42	58	0	0	0
	50	50	0	0	0
⑤余暇の充実に努め、より豊かな生活がおくれるように手立てをとったか。	42	50	8	0	0
	58	42	0	0	0